

文化振興指針 自己評価シート

主な取組(B)	施策(C)	事業(D)	個別事業(E)							H24事業結果	事業の評価と改善の方向性		備考				
			個別事業名 (予算上の事業または事項)	新規/再掲	担当部局	担当課	個別事業概要	目標・指標 (県総合計画「はばたけ群馬プラン」)				評価区分		評価の考え方			
								総合計画	成果(結果)を示す項目		実績値 (過去3年間)				目標値		
											H22 H23 H24				H23 (前年度)	H24 (当年度)	H27 (総合計画期間)
<p>■メディア芸術(映画、漫画、アニメーション、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術)の製作、上映等に対する支援に努めます。</p>																	
			メディア芸術推進事業		生活文化スポーツ部	文化振興課											
<p>■映画やドラマ、アニメーションなどの舞台など、新たな文化資産を活用した観光・地域振興の取組を促進します。</p>																	
			フィルムコミッション活動支援事業		企画部	企画課											
			映画・映像文化振興		生活文化スポーツ部	文化振興課	地域で芽生えた映画・映像への取組から生まれた作品を、県内NPO団体等と連携して上映するほか、若手クリエイター育成や団体間のネットワーク作りへ繋げる。	掲載 上映イベント件数 *H21～H23は支援団体数	H22 8件 H23 1件 H24 2件	2件	2件	8件 (2件×4カ年)	4	NPO法人をはじめ県民と協働で事業を実施するため、実行委員会形式での事業の実施方法とした。 ①ぐんま学生映像まつり2013 ②群馬ドキュメンタリー映画祭(共催事業)	H23年度に目標値に対して応募件数が少なかったことを踏まえ、実施方法を見直し、県が共催者として事業実施団体に経費の一部を負担する方法から、県及びNPO法人等による実行委員会を組織し、事業を実施するなど、県内NPO団体と連携することで多様な映画を鑑賞する機会をより一層提供する。		
<p>②群馬県特有の文化の振興</p> <p>郷土に対する誇りと愛着を深め、地域の絆を強め、豊かな郷土づくりにつながるよう、群馬交響楽団や上毛かるたなどの群馬特有の文化の創造、育成、発展に取り組みます。</p>																	
<p>■群馬らしい文化の高揚を目指し、本県の文化的風土を再評価し、本県特有の文化資産を活用した、広がりのある、豊かな郷土づくりや新たな群馬ブランドの創造につながる取組を支援します。</p>																	
			東国文化周知事業		生活文化スポーツ部	文化振興課	古代の東国文化の中心地であり東日本最大の古墳大国である本県が誇る歴史文化遺産について、調査研究を進め、再認識を促すとともに、観光やイメージアップ等における活用や全国の発信を推進する。	①副読本「群馬の歴史文化遺産(東国文化)体験学習教材」を活用した公学習習の実施件数 ②周知イベントの参加人数	① H24 東国文化副読本の作成、体験教材の作成 ② H24 3,485人	①副読本・教材の作成 ②1,000人	①50件 ②1,000人	①延べ200件 ②延べ5,000人	3	中学1年生向けの東国文化副読本の制作や東国文化シンポジウム、周知イベント、モデルツアーを開催した。 【周知イベント】 東国文化シンポジウム 参加者250人 岩宿ムラ収穫まつり 参加者3,235人 モデルツアー 参加者134人	副読本の制作や周知イベントの開催等を通じて、本県が誇る歴史文化遺産の再認識を促すことができた。今後、東国文化＝群馬というイメージを全国に定着・発信し、観光資源としてイメージアップにつなげていくため、周知イベントやモデルツアー、情報発信ツールの開発など事業の充実が必要である。		
<p>■子どもたちの豊かな感性や創造性を育むため、小中学生や幼児を対象とする移動音楽教室及び高校音楽教室を開催し、本県の優れた芸術文化に直接触れる機会を提供します。</p> <p>■県民に愛され支持されるオーケストラを目指し、自立的経営体制の確立に取り組むとともに、楽団のレベルアップを図り、本物の音楽の素晴らしさや感動を届けます。</p> <p>■トップクラスの地方オーケストラとして活動範囲を県外へ広げ、音楽を通じた文化交流を推進します。</p>																	
			群馬交響楽団支援	再掲	生活文化スポーツ部	文化振興課	「移動音楽教室」、「高校音楽教室」、「楽器セミナー」、「幼児移動音楽教室」、「夏休みコンサート」、「県民の日コンサート」等を開催することにより、地域に根ざした楽団として子どもたちに音楽の素晴らしさや感動を伝えるほか、県外公演を実施して、本県のイメージアップを図る。	掲載 ①定期演奏会平均入場者数 ②幼児移動音楽教室開催件数	① H22 1,451人 H23 1,336人 H24 1,360人 ② H24 15回	①1,400人 ②15回	①1,400人 ②17回	①1,400人 ②20回	4	群馬交響楽団の運営及び事業を支援し、定期演奏会、小中学生及び高校生を対象とした音楽教室、夏休みコンサート、県民の日コンサートなどの公演や小中学校の吹奏学部員の技術的指導を行う楽器セミナーなどで年間137日、174回の演奏会等を開催し、127,749人の入場者数があった。また、24年度新規事業「幼児移動音楽教室」を15回開催した。	群馬交響楽団は、提起演奏会の他、子どもたちを対象にした音楽教室など、幅広い層を対象にした演奏会を県内各地で開催し、県民の心の豊かさや感性を育む等、本県の音楽文化の向上と振興に貢献している。 楽団は25年4月に公益財団法人へ移行したが依然として厳しい経営状況にあることから、賞与削減などの積極的な経営改善策を継続するとともに、引き続き財政基盤強化のための支援を行う必要がある。 また、幼児移動音楽教室は実施要望が多いことから、目標値に向けて開催回数を増やすなど事業の充実を図る。		
			群馬交響楽団支援		企業局	発電課											
<p>■群馬の文化的風土の象徴として「上毛かるた」を再評価し、その活用を図ることにより、県民の郷土愛・群馬の歴史や文化に対する誇りを育みます。</p>																	
			上毛かるた		生活文化スポーツ部	文化振興課	上毛かるたを通じて郷土への愛着や誇りを醸成する。	掲載 ①副読本「『上毛かるた』で見つける群馬の姿」の販売部数 ②ガイドマップ「『上毛かるた』ゆかりの地文化めぐり」の販売部数	① H22 19,589部 H23 4,539部 H24 2,429部 ② H22 453部 H23 9,768部 H24 3,003部	①2,500部 ②2,500部	①2,000部 ②2,000部	①10,500部 ②15,500部	4	副読本「『上毛かるた』で見つける群馬のすがた」を学校現場で活用するとともに、副読本及びガイドブックを販売した。	副読本の学校現場で活用を引き続き推進する。 副読本やガイドマップの販売を通じて、かるたに込められた史跡や人物などについて認識を新たにすることにより、郷土への愛着や誇りを醸成する。		